

[488] “阿 Q! 同去同去!” ——革命 (五) 『阿 Q 正伝』を読む (11)

(41) “像我们这样穷朋友是……”

「Q さん、このところ……景気はいいかい？」趙太爺がおずおずとたずねると、阿 Q、
“发财? 自然。要什么就是什么……” (景気? 決まったら。欲しいものは何だっておれのものさ…
…)

趙白眼が、革命党の口裏を探るかのように、おそるおそる言った。

“阿……Q 哥，像我们这样穷朋友是不要紧的……” (阿……Q の兄貴，おれたちみたいな貧乏人は大丈夫だろうな……)

阿 Q はつれなく答えて立ち去る。

“穷朋友? 你总比我有钱。” (貧乏人? おまえさんはおいらよりずっと金持ちじゃねえか。)

(42) “留几条么?”

阿 Q の態度に、趙家の人々はみな打ちしおれて、黙り込んでしまいます。

趙太爺と息子の秀才は家に帰ると、灯をともし頃までいろいろ相談した。趙白眼も家に帰ると腰から“搭连”(銭入れ)をはずし取って、女房に渡して長持ちの底に隠させます。

阿 Q は“飘飘然”ふらりふらりと飛び回った後、土地廟へ帰ってきますが、もう酔いはすっかり醒めています。

その晩は廟の管理人のおやじもとびきりあいそがよく、わざわざお茶を出してくれます。凶に乗った阿 Q は餅を二個所望し、食べ終わると使いかけのろうそくとろうそく立てを持ってこさせて火をともし、自分の小部屋に寝そべります。

(43) “阿 Q! 同去同去!”

“造反? 有趣，……来了一阵白盔白甲的革命党，都拿着板刀，钢鞭，炸弹，洋炮，三尖两刃刀，钩镰枪，走过土谷祠，叫道，‘阿 Q! 同去同去!’ 于是一同去。……” (造反? 面白れえ，……
白い兜かぶとと白い鎧の革命党がわっと乗り込んできた。みな手には青竜刀，鋼はがねの鞭，爆弾，歩兵銃，三つ又の劍，鎌槍を持って土地廟を通りかかると，「阿 Q，一緒に来い，一緒に来い」と叫ぶ。そこでおれも一緒に行く。……)

「そうなるよ，未荘のロクでなしどもは見ものだな，土下座して，『阿 Q，命だけはお助けを!』と叫ぶだろうな。誰が聞いてやるものか! 真っ先にやつつけるのは小 D と趙太爺だ。それから秀才とニセ毛唐，……何匹か残してやるか? 鬍の王は残してもいいが，やっぱり残すこともなからう。……」

(44) “自己是不动手了”

“东西，……直走进去打开箱子来：元宝，洋钱，洋纱衫，……秀才娘子的一张宁式床先搬到土谷祠，此外便摆了钱家的桌椅，——或者也就用赵家的罢。自己是不动手的了。叫小 D 来搬，要搬得快，搬得不快打嘴巴。……” (品物は，……どどん踏み込んでいって箱をぶちあけるんだ：馬蹄銀，西洋銀貨，上絹の上着，……秀才の女房の寧波式ニンポーの寝台をまず土地廟へ運んできて，次に銭家のテーブルと椅子を並べるんだ，——それとも趙家のにするか。自分ではやらないで，小 D に運ばせる。早く運ばばよし，遅いとビンタだ。……)

“宁式床”は浙江省寧波一帯で造られた高級寝台。さまざまな彫刻や細工が施されている。

2017/2/10